



第13回 防災・環境シンポジウム



— 琉球諸島における地盤問題とその対策 —

開催日: 令和元年12月12日(木)
 時間: 13:30~17:30
 場所: 琉球大学研究者交流施設・50周年記念館 (多目的室AB)
 主催: 琉球大学 島嶼防災研究センター
 共催: 一般社団法人 沖縄県測量建設コンサルタント協会
 後援: 琉球放送株式会社、NHK沖縄放送局、沖縄テレビ放送株式会社
 琉球朝日放送株式会社、琉球新報社、沖縄タイムス社



プログラム

- 13:30~13:35 開会の儀 和田 知久 (琉球大学 工学部 学部長)
 講演
- 13:35~14:05 新城 俊也 (農学部名誉教授) 「島尻層泥岩の乾湿劣化」
 14:05~14:25 藍檀 オメル (センター長) 「琉球諸島における地盤の問題について」
 14:25~14:45 Nazlı Tunar Özcan (Hacettepe University) 「INVESTIGATION OF THE CONSOLIDATION CHARACTERISTICS AND THE DYNAMIC BEHAVIORS OF PEATY SOILS IN THE VICINITY OF KAYSERİ USING FIELD, LABORATORY AND NUMERICAL MODELLING TECHNIQUES」
 14:45~15:05 大塚 康範 (ESA) 「岩盤分類RMQRに基づいてボールホールカメラを用いて岩盤の評価およびその適用」
 15:05~15:25 井上 英将 ((株)南城技術開発) 「系数アブチラガマ(石灰洞)の安定性評価の事例」
 休憩
- 15:45~16:05 伊東 孝 (工学部) 「岩石のクリープ現象と岩盤構造物への影響について」
 16:05~16:25 渡嘉敷 直彦 (地殻工学防災研究所) 「琉球石灰岩層を支持層とする杭基礎の検討」
 16:25~16:45 岩田 直樹 (中電技術コンサルタント(株)) 「合成開口レーダ(SAR)の沖縄県の防災への適用事例」
 16:45~17:05 豊里 博輝 (沖縄しまたて協会) 「自然災害発生時におけるドローン活用可能性調査」
 17:05~17:25 砂川 尚之 (日興建設コンサルタント) 「島尻層泥岩切土法面の維持管理方法・対策に関する検討」
 17:25~17:30 閉会の儀 川満 一史 副会長(沖縄設計センター)